

第4章 地域特性を生かした景観まちづくり

景観まちづくりは、身近な地域の成り立ちを理解しながら、地域の特徴的な自然や歴史的資源を生かし、守り、周辺環境と調和して進めていくことが大切であり、そのことが個性と愛着ある地域の実現につながると考えます。このため、市を景観特性に従い8つのゾーンに区分し、「地域特性を生かした景観まちづくり」を展開します。

また、この景観まちづくりを効果的に進めるため、景観まちづくり推進モデル地区を設定し、各地区ごとの景観まちづくりの目標と方針を提示しました。この推進モデル地区はゾーンを象徴するとともに、ゾーンの景観要素をバランス良く含み、先導的に景観まちづくりを進めることで他の地区への波及効果も見込めるなどの観点から抽出しました。

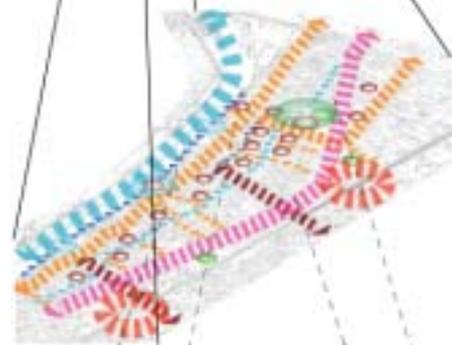
地域特性を生かしたゾーニング

- ・市内の景観特性に応じて
8つのゾーンに分類



典型ゾーン（地区）

- ・特に典型的な要素を含む
ゾーン（地区）



景観まちづくり推進モデル地区

- ・典型ゾーンの中で先導的
な景観まちづくりを推進
するためのモデル地区



典型ゾーンおよび景観まちづくり推進モデル地区位置図

